ご協力に感謝します 緑募金運動

平成九年度における緑募金運動は、緑豊かな潤いのある郷土づくりをめざして全国で展開され、一般家庭等へのご協力をお願いしたところ、寄せられた金額は次のとおりとなりました。

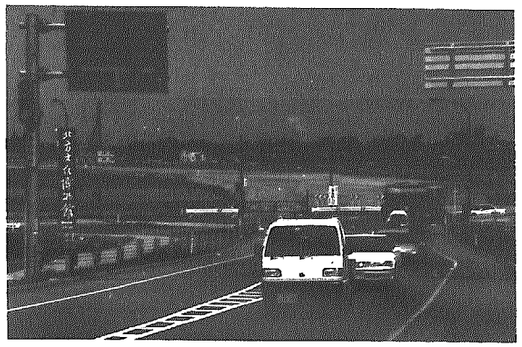
町民の皆様方のご理解とご協力に対し厚くお礼を申し上げるとともに、募金結果について報告させていただきます。

〈緑募金結果内訳〉

地区名	金額（単位 円）
横越	123,982
沢海	34,400
木津	26,250
二本木	34,300
小杉	20,000
藤・駒	8,400
その他	1,830
募金総額	249,162

24時間体制で道路をまもる

～建設省新潟維持出張所からのお知らせ～



供用開始後の横雲バイパス

皆様は、新潟市の本町交差点に国道の道路元標があるのをご存じでしょうか。

ここを起終点とする7号・8号・49号・113号の国道は、新潟市内でも最も重要な幹線道路といえます。

私どもの出張所は、そのうち日本でも3番目の1日13万台の交通量を誇る新潟バイパスや新々バイパス、亀田バイパス及び横越町を通る横雲バイパスなどを含む総延長64キロメートルの国道を管理しています。

国道を、毎日皆様方に安全で快適に利用していただけるように日夜のパトロールや、路上での車からの落下物の処理、事故で痛んだガードレール等の修理、冬期間の除雪等を24時間体制で行っています。

皆様方にお願い事ですが、道路に空き缶等のゴミを捨てないようにお願い致します。重大な交通事故につながる恐れがあります。

国道に関する連絡や問い合わせは、次のところまでお願い致します。

〒950　新潟市紫竹山3丁目12番2号
建設省　新潟維持出張所　☎244－3483
道路110番をご利用ください☎249－1110

オーナーが長芋の植え付け

五月十八日、町の特産として評価の高い長芋づくりを自ら体験して、横越の長芋の良さを確かめてもらおうと「阿賀の里づくり・よこごし」が募集した長芋オーナーが、焼山のAFカガヤキの圃場に集い、種芋の植え付けを行いました。

二十代前半の若いオーナーを含め、三十数名のオーナーの殆どは町外の人達で、新潟市の人が大半。五泉市や豊栄市からの参加もありました。

長芋の特性や栽培方法を教わって、堆肥が施され整地された畑への植え付けは、いとも簡単に終えました。植え付けの容易さに比べ、掘り取りはオーナーにとって大変な作業になるでしょうが、出来ばえが楽しみです。

沢海観光特産品販売店愛称募集

▶応募対象者　小学生以上
▶応募の方法　ハガキに住所・氏名・電話番号・年齢・愛称を記載して応募ください（自作の作品で、未発表のものをハガキ1枚に1作品を記載してください）
▶締切り　6月20日（金）必着
▶応募先　〒950-02 横越町横越4711-1 横越町商工会
▶発表　広報よこごし・本人通知
▶賞　特賞1名、入選2名（開業式典にご招待）
▶問い合わせ　横越町商工会 ☎385-2773

横越町の笹団子を全国に紹介

江口悦子さんらが出演

五月十六日、新潟テレビ21の正午からの番組「ワイド！スクランブル」の『旬・ザ・日本』のコーナーに、木津の江口悦子さんが自宅より、近所の方々といっしょにテレビ出演しました。

番組では、新潟県の旬の味「笹団子」作りの実演等を行い全国に広く「横越町の笹団子」を紹介しました。

ご厚志に感謝

町に、次の方より社会福祉事業に役立てて欲しいと寄付がありました。

沢海土曜クラブ（代表　渋谷洋子）より、四月二十九日開催の「夢さがし　よこごし　チューリップ　Tulip'97」でのフリーマーケット等の収益より一万円。

ご厚志に感謝します。

カメラアングル CAMERA ANGLE

チューリップで変身コーナーも大人気

横越町のチューリップ全開 多くの観光客で賑わう

4月29日のみどりの日、「夢さがし　よこごし　チューリップ　Tulip'97」が同実行委員会主催で開催されました。

今年は、開園したばかりの「阿賀野川床固め公園」を会場にイベントを開催。暖かな気候と目の前を阿賀野川がのどかに流れるベストコンディションの中、横越町のチューリップを楽しもうと会場いっぱいに約1万人の観光客が訪れました。

当日は、会場に植えられた約20種類20万球のチューリップが満開となり、モデルを使ってのチューリップ撮影会、チューリップ染体験、花つみ体験、チューリップで変身、オカリナ演奏、フラワーワールドなどの多彩な催しに加え、各種模擬店も出店し、大変な賑わいをみせました。

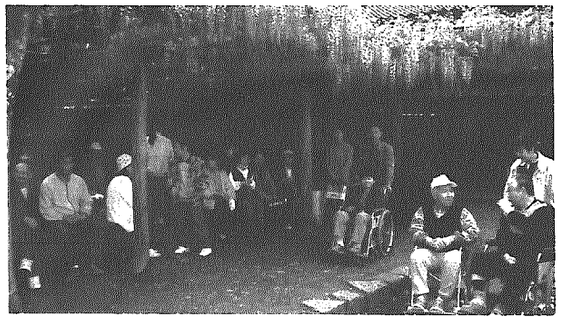
目・心の保養事業を展開 ～あゆみの会が野外活動を実施～

町では、脳卒中をはじめとして、種々の疾患により心身に障害を持つ人の社会参加の場のひとつとして、機能訓練教室（あゆみの会）を毎月実施しています。

5月9日には、町内野外活動として北方文化博物館に行き、満開の藤の花を堪能してきました。

当日は、20名のメンバーのうち18名が参加。天候にも恵まれ参加者からは「藤の花の美しさに大変感動しました」「このような教室に参加して良かった」などの感想を聞くことができました。

今後も町では、季節や自然に触れ、目や心の保養となる事業を展開するとともに、新たな参加者も歓迎しておりますので、保健婦へお気軽にご相談ください。



北方文化博物館で藤の花を堪能

うまく掘れるかな～（竹のこ掘り体験より）

竹の魅力を楽しむ 町外からも多数の参加

5月10日に「竹のこフェアーフジコマ'97」が同実行委員会主催により、藤山駒込地区のJA野菜集出荷所で開催されました。

同イベントの開催は今年で5回目。当日は、町内ばかりでなく町外からもテレビや新聞等の宣伝を見て駆けつけた方が多く、亀田町のある方は、「毎年春になると楽しみで、今年で4年連続できています」とか、新潟市のある方は、竹のこ掘りを体験されて「根の間を切りながらする作業で大変でしたが、初めて体験できたので楽しかったです」という感想が聞かれました。

朝掘り竹のこ市にも人気が集まり、用意された415袋（1袋1kg）の竹のこは完売。また、昔ながらの竹トンボづくりの実演、野だてなど盛り沢山のイベントで大変な賑わいとなりました。

慣れない足場に四苦八苦 川根谷内で稲作り体験実施

5月11日、川根谷内地域公民館（館長　高橋惣衛）主催の「子ども稲作り体験事業」が開催されました。

7年前に開催以来今年で2回目となった同事業は、田植えをしたことのない子どもを対象とし、田植えから稲刈りまでを体験してもらうと共に、育成状況を観察してもらうことがねらい。

会場となった佐久間正夫自治会長の田んぼには、20名ほどの小学生が参加。「わく」と呼ばれる道具で植える箇所に印を付けた後、実際に「コシヒカリ」の苗の植えつけを開始。最初は慣れない足場に戸惑いながらも、役員の方々の指導のもとで用意された30箱の苗は1時間程で植えつくされました。

作業を終えた後は、公民館に会場を移し、とん汁やおにぎりを囲んでの楽しい昼食会となりました。

小学生たちによる田植え体験